令和７年３月１０日

漁業管理課
直　通：092-643-3555
内　線：４１０３、４１１４
担　当：中川、中村

第２回福岡県ブルーカーボン推進協議会を開催します！

～県内各地の１石３鳥の取り組み事例をご紹介～

海藻に吸収・固定される二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、近年、脱炭素社会の実現に向けて大きな役割が期待されています。

県では、令和６年４月に、ブルーカーボンの創出を推進するため、筑前海沿海の漁協や市町、九州大学等で構成される「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を立ち上げ、発足以来、協議会会員により、海藻を食害するウニの除去をはじめ、さまざまなブルーカーボン創出のための取り組みが活発に実施されています。

３月１４日に、水産高校生による藻場保全の活動など、県内各地での取り組み事例の報告会を開催します。

１　日時

令和７年３月１４日（金）１４時００分～１５時００分（受付１３時３０分から）

２　場所

福岡県水産会館5階　大研修室（福岡市中央区舞鶴2丁目4－19）

投石再配置工事

３　内容

・事例報告

（１）協議会会員が連携して実施したブルーカーボン創出の取組の紹介
（福岡県ブルーカーボン推進協議会）

（２）ＪＢＥクレジット認証に関する報告
（宗像ブルーカーボン推進協議会）

（３）ダイバーができる磯焼け対策　（福岡県立水産高等学校）

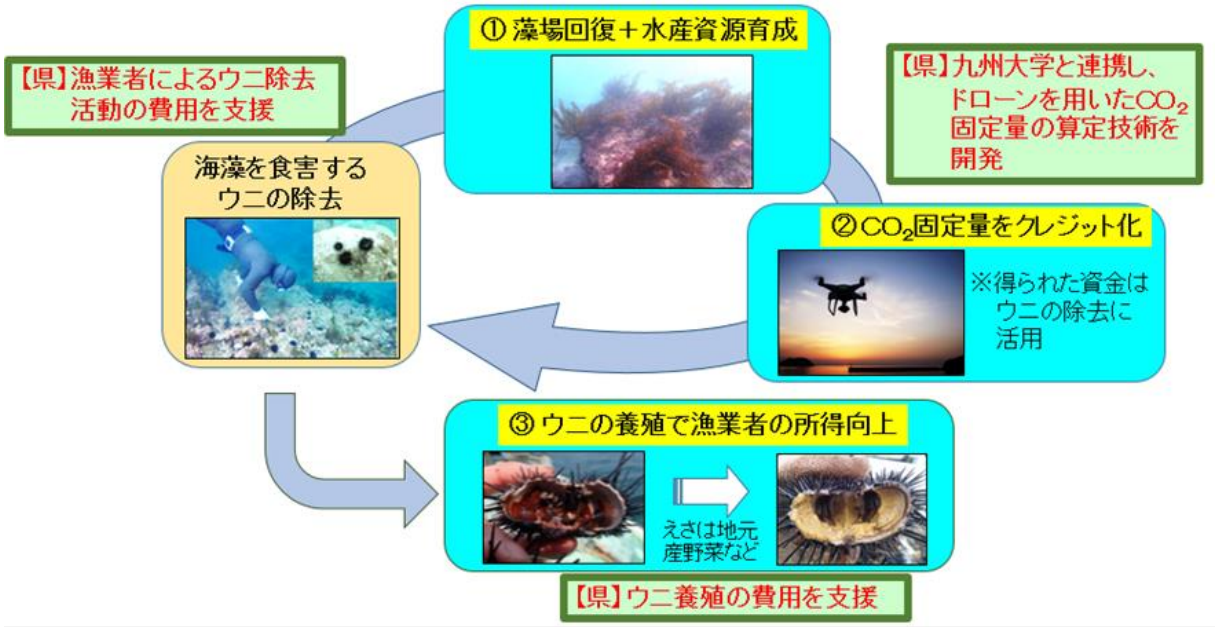
（４）投石の再配置による機能回復について
（福岡県水産海洋技術センター）

・質疑応答

４　主催

福岡県ブルーカーボン推進協議会

★　報道機関の皆さまへ

報告会終了後、１５時１５分まで同会場で、福岡県ブルーカーボン推進協議会、宗像市ブルーカーボン推進協議会、福岡県立水産高校、県水産海洋技術センターが取材対応します。

〈参考〉ブルーカーボンの創出で「１石３鳥」